

2025年 2 月期 決算発表説明会

イオンディライト株式会社

代表取締役社長 兼 社長執行役員

グループ C E O

濱田 和成

2025年 4 月10日

1 2024年度 決算報告

2 今後の見通し

連結損益計算書

顧客内シェア拡大や新規顧客開拓により**増収増益、過去最高益**（営業利益・経常利益）
 売上高の拡大に加え、売上総利益率の改善、販売管理の適切なコントロールにより
 営業利益は売上高の伸び率を上回り増益

	2023年度（構成比）		2024年度（構成比）		増減額	増減率
						（億円）
売上高	3,248	(100.0%)	3,379	(100.0%)	131	104.0%
売上総利益	426	(13.1%)	451	(13.4%)	25	105.9%
販売管理費	273	(8.4%)	287	(8.5%)	13	104.9 %
営業利益	152	(4.7%)	164	(4.9%)	11	107.8%
経常利益	154	(4.8%)	166	(4.9%)	11	107.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	107	(3.3%)	115	(3.4%)	8	107.6%

セグメント売上高

6事業で増収、1事業で減収。設備管理は継続契約の新規受託に加え、既存管理物件の契約外業務の受託を拡大。建設施工は省エネ関連工事に加え、大型工事を複数受託。資材関連は各種資材の受注を拡大。自動販売機は取扱高が減少。

	2023年度	2024年度	増減率 (億円)
設備管理	695	753	108.4%
警備	509	533	104.8%
清掃	704	718	102.1%
建設施工	592	607	102.7%
資材関連	463	482	104.1%
自動販売機	96	93	96.7%
サポート	188	190	101.1%
合計	3,248	3,379	104.0%

セグメント利益

全7事業で増益。設備管理・警備・清掃は売上高の拡大で原価上昇分を吸収。資材関連は原価上昇分の売価への反映や物流コストの抑制により収益性を改善し大幅増益。自動販売機は不採算機撤去により収益性を改善。サポートは負の遺産を払拭し収益構造を適正化

	2023年度	2024年度	増減率
	(億円)		
設備管理	59.1	61.5	104.2%
警備	31.0	31.5	101.6%
清掃	52.7	55.3	104.9%
建設施工	53.2	54.9	103.2%
資材関連	23.2	26.2	112.8%
自動販売機	12.9	13.0	100.9%
サポート	5.4	15.6	286.2%
合計	237.8	258.3	108.6%

連結貸借対照表

(億円)

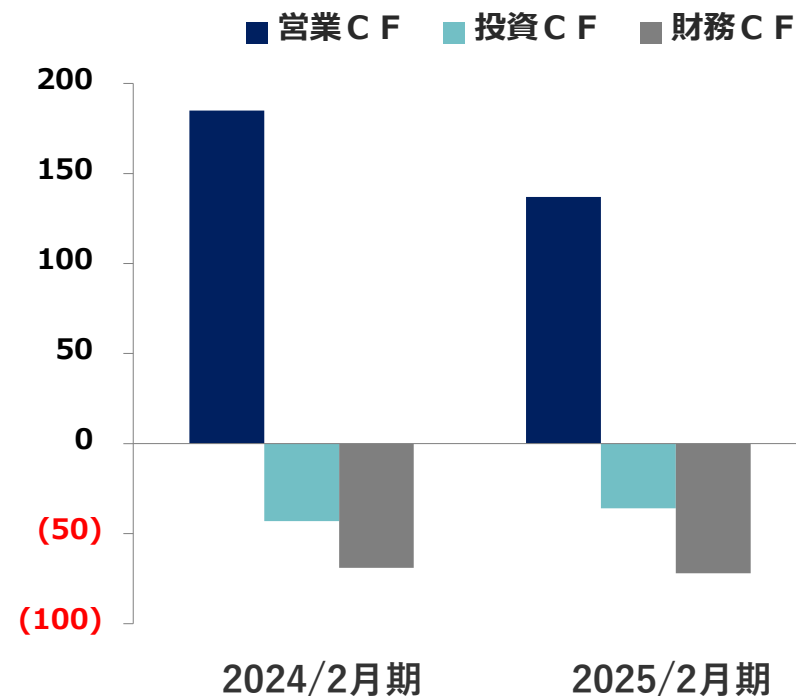
資産の部	2024/2	2025/2	増減額	負債・純資産の部	2024/2	2025/2	増減額
流動資産	1,399	1,489	89	流動負債	534	557	22
有形固定資産	64	61	▲3	固定負債	25	37	11
無形固定資産	60	53	▲7	負債合計	560	594	33
投資等	76	93	16	株主資本	999	1,045	45
固定資産	202	209	6	純資産合計	1,042	1,104	62
資産合計	1,602	1,698	96	負債・純資産合計	1,602	1,698	96

連結キャッシュフロー計算書

(億円)

	2024/2	2025/2	増減額
営業活動による キャッシュフロー	185	137	▲47
投資活動による キャッシュフロー	▲43	▲36	7
財務活動による キャッシュフロー	▲69	▲72	▲2
現金及び現金同等物 の期末残高	677	712	34

(億円)

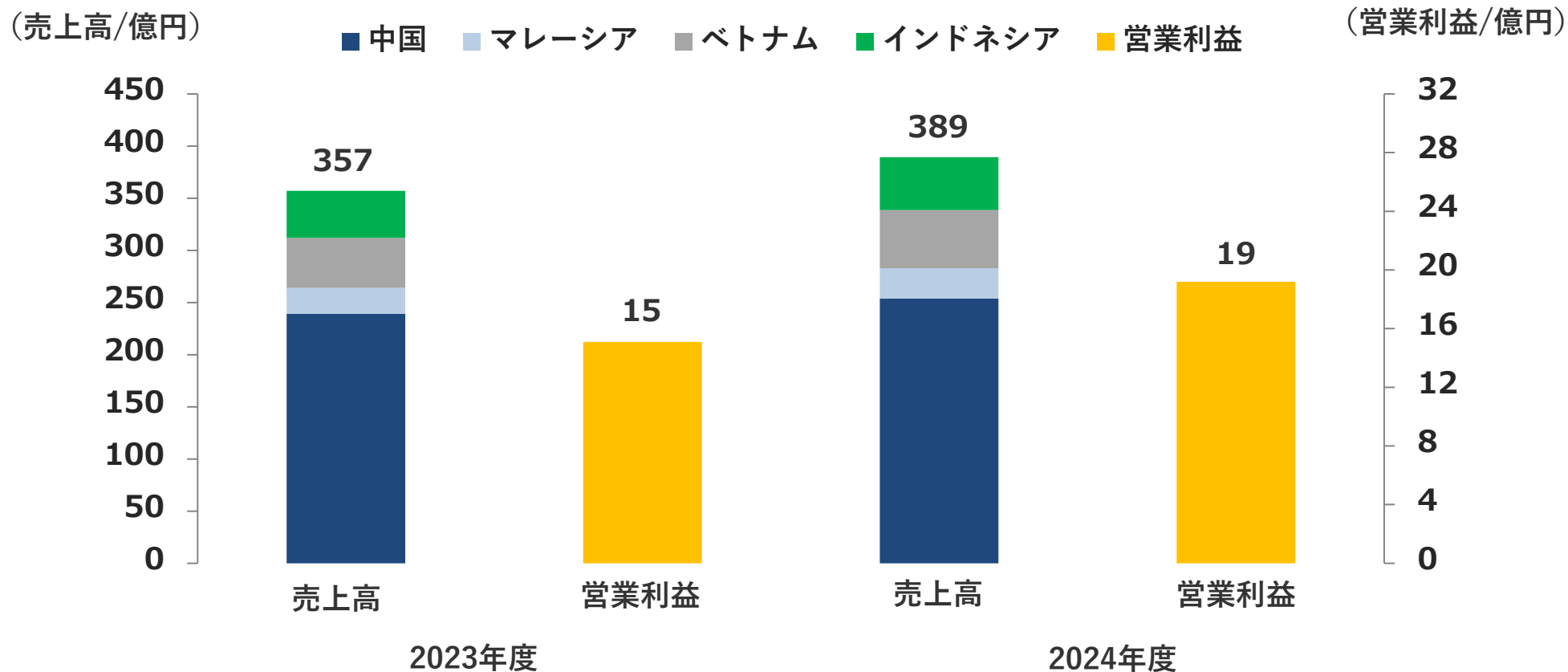


アジアでの事業拡大

海外事業は売上高 前年比109.1%, 営業利益 前年比126.7%の増収増益

中国 : 顧客内シェア拡大や新規顧客開拓により堅調に事業し増収増益

アセアン : 事業を展開する各国で増収増益。収益性改善により大幅増益



2005年度以降、**20**期連続増配

2024年度は期初予想通り **87円**

の配当を実施（実績配当性向36.4%）

1 2024年度 決算報告

2 今後の見通し

中期経営計画（2024年度-2026年度）

事業環境

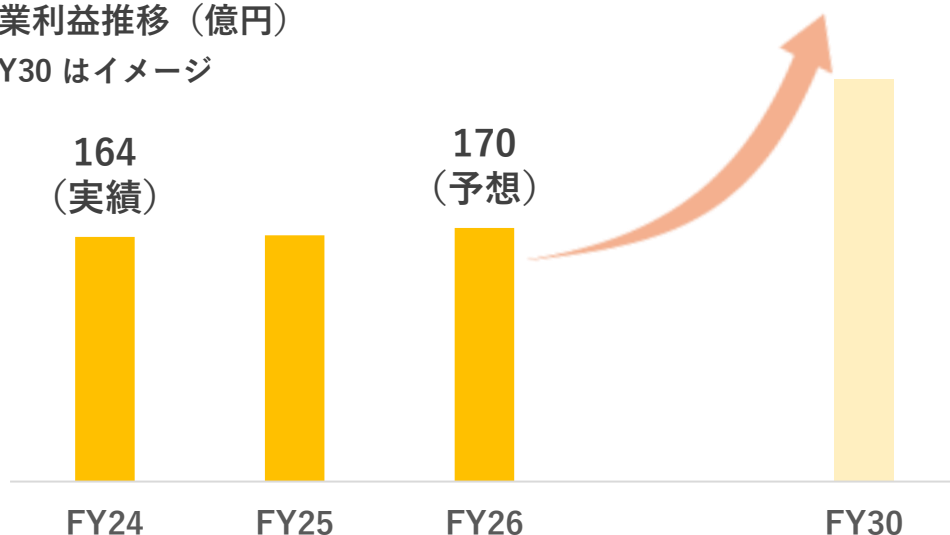
- ✓ 国内ビル管理市場は緩やかな拡大傾向も 人手不足や原価上昇が加速
- ✓ 事業縮小や廃業に追い込まれる事業者の増加、業界再編の気運
- ✓ 建設市場では改修・維持修繕工事の割合が増加
- ✓ 企業・団体における非中核業務のアウトソーシングニーズの拡大

中期3ヵ年 経営計画 (FY24-FY26)

将来の飛躍に向けて、ビジネスモデルの変革を推進し足場を固める3年間
- 3つの変革とその共通基盤となる人的資本の強化を通じて競争優位を確立-

営業利益推移（億円）

*FY30 はイメージ



3つの変革

- ① 施設管理業務の圧倒的効率化と
規模の経済が効く事業モデルへの変革
- ② FMコンサル機能の強化
- ③ 建設施工 事業規模の大幅拡大に向けた体制強化

変化の速度が早く、不確実性の高い環境下、
オーガニックな成長戦略のみでは不十分と認識

イオンの完全子会社化によりイオングループのスケラビリティを
最大限に活用し成長戦略を加速



戦略的にイオングループとの連携を強化

事業領域の拡大に向けて、
非中核業務のアウトソーシングニーズに対応した
ノウハウ獲得も視野に
イオングループ内のバックオフィス業務に係る
様々なニーズに対して事業機会を模索

ファシリティマネジメント企業として
競争力を強化し、
イオングループ内外市場で成長を加速
アジアNo.1のFM企業へ

公開買付け（TOB）の概要

公開買付者

イオン株式会社（東証プライム：証券コード8267）

公開買付価格

1株当たり 5,400円

（2025年2月27日終値4,625円に対して16.76%のプレミアム）
（過去1ヶ月終値平均4,209円に対して28.30%のプレミアム）

本公開買付の日程

- ・ 公開買付期間 2025年3月3日～2025年4月24日（予定）
- ・ 買付結果公表日 2025年4月25日（予定）
- ・ 買付代金決済日 2025年5月2日（予定）

ご意見・ご質問につきましては、下記をお願いいたします。

- この資料には、イオンディライトの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。

これらの記述は、過去の事実だけではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定に基づく見込みです。そのため、実際の業績は見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

- 資料中、特に注記がない場合を除き下記の方法により記載しております。

- ◇ 全て連結を対象として記載
- ◇ 記載金額は億円未満を切り捨て
※p.5 を除き千万円未満を切り捨て
- ◇ 比率は小数点第2位を四捨五入

イオンディライト株式会社
(証券コード：9787)

IR担当部署：広報・IRグループ

TEL 03-6895-3892

又は、ホームページよりお問い合わせください。

<https://www.aeondelight.co.jp>

本資料の内容につきましては公表日（2025年4月10日）までに入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。